

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年6月14日

株式会社ダイソーフジテック

1. 環境方針

当社は人口が360万人以上の横浜市に拠点を構え、一般廃棄物や産業廃棄物の収集運搬業務、再資源化物の回収・再利用や解体・清掃業務を行っております。将来にわたり健康で豊かな生活を営むために企業活動および社員行動を通じて地域社会の信頼を得られるよう、環境マネジメントシステムを構築・維持し継続的な改善を図るとともに環境保全の向上および汚染の予防に努めます。

環境保全活動に関する基本方針

- ・当社は次世代へより良い環境を残し引き継ぐ使命のもと、資源のリサイクルおよび次の様な項目を環境管理重点テーマとして取り組み、省エネルギー活動を推進していきます。
 1. 運搬車両の燃費効率向上による燃料の削減とCO2削減に努めます。
 2. 電力の使用量の削減に努めます。
 3. 電子マニフェストの導入調査及びテスト運用を行います。
 4. 廃棄物の適正管理に努めます。
 5. 節水による水の使用量の注意喚起を行います。
- ・当社中間処理後の廃棄物の再資源化率向上を目指します。
- ・循環型社会の構築に貢献するためにグリーン購入に積極的に取り組みます。
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律をはじめとする関連法規制を遵守するため、従業員全員に環境に関する教育訓練を行います。
- ・この環境方針は社外へも公開し、一般の人にも入手可能なようにホームページなどにより広く開示します。

平成24年9月12日改定
株式会社ダイトーフジテック
代表取締役 藤森 俊明

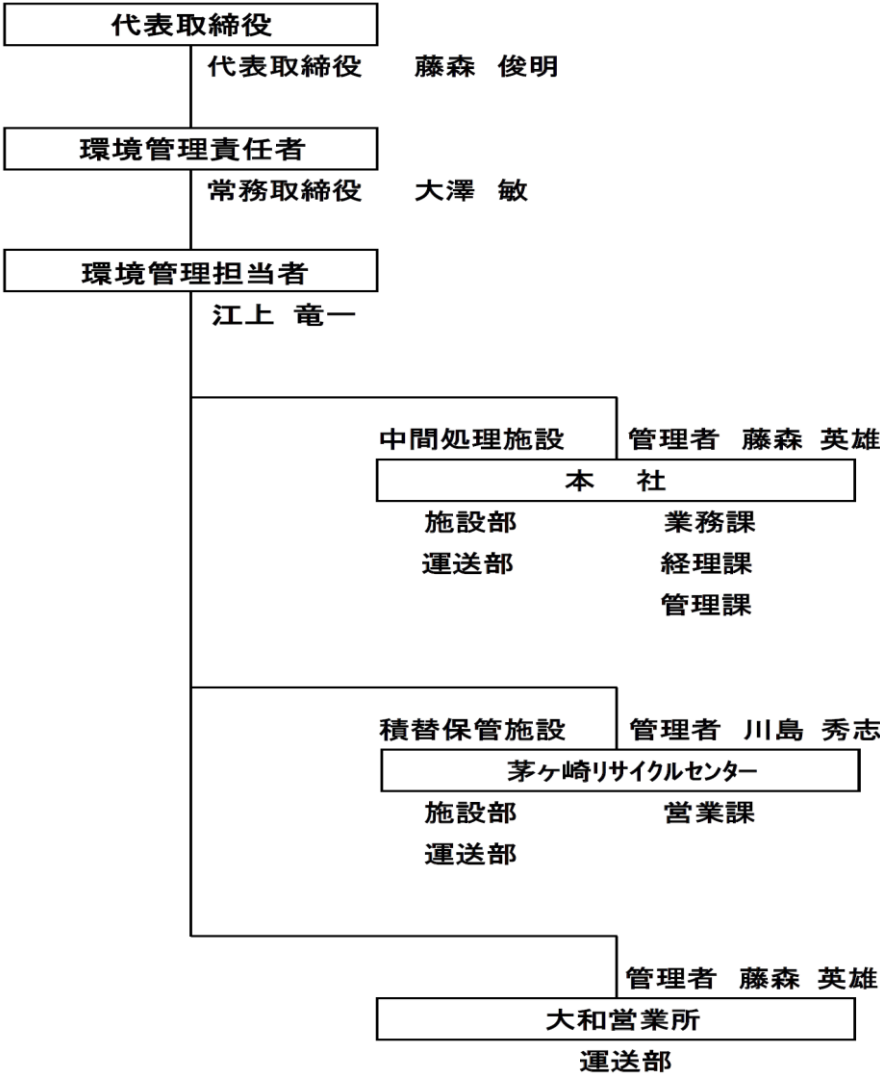
2. 組織の概要に関する情報

2-1. 会社概要

会 社 名	株式会社ダイトーフジテック								
代 表 者 氏 名	代表取締役 藤森 俊明								
法人設立年月日	平成3年12月11日								
資 本 金	1,000万円								
事業所所在地 (認証・登録施設)	[本社] 住所:神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12 電話:045-781-6611 FAX:045-781-3800 [茅ヶ崎リサイクルセンター] 住所:神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ腰25番4 電話:0467-54-7341 FAX:0467-81-4301 [茅ヶ崎営業所] 住所:神奈川県茅ヶ崎市芹沢23番地3 電話:0467-54-7341 FAX:0467-81-4301 [大和営業所] 住所:神奈川県大和市上和田1957番地 <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">床面積</td><td>本 社</td><td>779m²</td></tr> <tr> <td>茅ヶ崎リサイクルセンター(営業所含む)</td><td>183m²</td></tr> <tr> <td>大和営業所</td><td>9.5m²</td></tr> </table> ※以降、茅ヶ崎リサイクルセンター表記は、営業所含む		床面積	本 社	779m ²	茅ヶ崎リサイクルセンター(営業所含む)	183m ²	大和営業所	9.5m ²
床面積	本 社	779m ²							
	茅ヶ崎リサイクルセンター(営業所含む)	183m ²							
	大和営業所	9.5m ²							
事業活動の内容	・産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物処分業(中間処理) ・一般廃棄物収集運搬業 ・解体工事請負業 (ビル、工場及び設備ライン、木造建築物、内装解体など) ・排水処理設備等清掃業 (タンク、ピット、スクラバー清掃、充填材撤去など排水処理設備総合メンテナンス及び特殊清掃作業) ・フロン回収工事業 ・廃棄物処理・リサイクルに関するコンサルタント業 ・廃棄物用コンテナ販売業								

事業の規模	廃棄物取扱量	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	産業廃棄物運搬量	13, 085t	12, 104t	7, 883t	8, 833t
	産業廃棄物処分量	6, 656t	6, 396t	6, 156t	6, 846t
	一般廃棄物運搬量	4, 166t	4, 215t	3, 919t	3, 875t
	売上高 ※1	844百万円	928百万円	859百万円	百万円
	解体工事件数	10件	6件	8件	4件 ※3
	従業員数	46人	41人	42人	43人 ※2
※1 売上高については、各年度10月～翌年9月までの期間 ※2 従業員数は、2024年3月末時点 ※3 半年分(2023年4月～9月分) 2023年10月～2024年3月分は、確定次第追記予定					
環境管理責任者 氏名及び担当者 連絡先	環境管理責任者:常務取締役 大澤 敏 連絡先:電話 045-781-6611 FAX 045-781-3800 e-mail daitofujitec@dft.co.jp URL http://www.dft.co.jp				

2-2. 組織図



株式会社ダイソーフジテック従業員数

人員及び所属	本社	茅ヶ崎リサイクルセンター	大和営業所	総計
正社員	22名	15名	5名	42名
契約社員	0名	0名	0名	0名
パート、アルバイト	0名	0名	0名	0名
派遣社員	0名	1名	0名	1名
所属合計	22名	16名	5名	43名

2024 年 3 月改定

2-3. 産業廃棄物及び一般廃棄物・処理許可内容

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
許可番号		第1300002090号	第01413002090号	第01200002090号	第01101002090号
許可年月日		2020年6月9日	2017年4月24日	2021年6月7日	2018年8月27日
許可期限年月日		2025年6月8日	2027年3月15日	2026年5月26日	2028年7月4日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を含む)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の 種 類	燃え殻	注3○	注3○	注3○	○
	汚泥	注2・3○	注2・3◎	注2・3○	注2○
	廃油	○	◎	○	○
	廃酸	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃アルカリ	注3○	注3◎	注2・3○	○
	廃プラスチック類	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	◎	○	○
	木くず	○	◎	○	○
	繊維くず	○	◎	○	○
	動植物性残さ	○	◎	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○
	金属くず	注2○	注2◎	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	注1・2◎石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鉱さい	注3○	注3○	注3○	○
	がれき類	○石綿	注1◎石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	注3○	注3○	注3○	○
	政令13号廃棄物	—	○	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		静岡県	山梨県	長野県	群馬県
許可番号		第02201002090号	第01900002090号	第2009002090号	第01000002090号
許可年月日		2014年5月9日	2020年7月11日	2018年6月1日	2016年10月18日
許可期限年月日		2028年5月8日	2025年7月10日	2028年5月31日	2026年10月17日
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)
取扱 廃棄物 の 種 類	燃え殻	—	—	○	—
	汚泥	○	○	注2○	注2・3○
	廃油	○	○	○	注2○
	廃酸	○	○	○	注2・3○
	廃アルカリ	○	○	○	注2・3○
	廃プラスチック類	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	紙くず	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	—	○
	動植物性残さ	○	—	○	○
	ゴムくず	○	—	○	—
	金属くず	○	○	注2○	注2○
	ガラスくず及び陶磁器くず	○石綿	○石綿	注2○石綿	注2○石綿
	鋳さい	—	—	○	—
	がれき類	○石綿	○石綿	○石綿	○石綿
	ばいじん	—	—	○	—
	政令13号廃棄物	—	—	—	—

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

産業廃棄物収集運搬・処分

許認可都道府県政令市		栃木県	茨城県	横浜市	
許可番号		第00900002090号	第00801002090号	第05620002090号	
許可年月日		2016年11月29日	2017年2月2日	2020年1月1日	
許可期限年月日		2026年11月28日	2026年11月28日	2024年12月31日	
業の種類		収集・運搬 (積替保管を除く)	収集・運搬 (積替保管を除く)	中間処分 (破碎・圧縮・溶融)	
取扱 廃棄物 の 種類	燃え殻	—	—	—	
	汚泥	注2・3○石綿	○石綿	—	
	廃油	○	○	—	
	廃酸	注3○	○	—	
	廃アルカリ	注3○	○	—	
	廃プラスチック類	注2○石綿	○石綿	○	
	紙くず	○	○	○	
	木くず	○	○	○	
	繊維くず	○	○	○	
	動植物性残さ	○	○	—	
	ゴムくず	—	○	○	
	金属くず	注2○	○	○	
	ガラスくず及び陶磁器くず	注2○石綿	○石綿	○	
	鉱さい	—	—	—	
	がれき類	○石綿	○石綿	○	
	ばいじん	—	—	—	
	政令13号廃棄物	—	—	—	

○: 取扱可能な廃棄物

◎: 収集運搬及び積替保管の可能な廃棄物

石綿: 石綿含有産業廃棄物の取扱可能な廃棄物

注1: 石綿含有廃棄物の収集運搬は可能ですが、積替保管は不可能な廃棄物

注2: 水銀使用製品産業廃棄物を含む

注3: 水銀含有ばいじん等を含む

特別管理産業廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		東京都							神奈川県						
許可番号		第 1357002090 号							第 01453002090 号						
許可年月日		2022 年 8 月 5 日							2022 年 6 月 28 日						
許可期限年月日		2027 年 8 月 4 日							2027 年 4 月 21 日						
業の種類		収集・運搬(積替保管を除く)							収集・運搬(積替保管を除く)						
特別管理産業廃棄物の種類		廃石綿等							廃石綿等						
		廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)							廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る)						
		廃酸(pH2.0 以下のものに限る)							廃酸(pH2.0 以下のものに限る)						
		廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)							廃アルカリ(pH12.5 以上のものに限る)						
		特定有害産業廃棄物(下記の通り)							特定有害産業廃棄物(下記の通り)						
特定有害産業廃棄物		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	鉱さい	ばいじん
有害物質名	アルキル水銀化合物		○		○	○									
	水銀又はその化合物	—	○		○	○	—	—		○		○	○	—	○
	カドミウム又はその化合物	—	○		○	○	—	—	○	○		○	○	—	○
	鉛又はその化合物		○		○	○	—	—	○	○		○	○	—	○
	有機燐化合物	—	○		○	○				○		○	○		
	六価クロム化合物	—	○		○	○	—	—	○	○		○	○	—	○
	砒素又はその化合物		○		○	○	—	—	○	○		○	○	—	○
	シアン化合物		○		○	○				○		○	○		
	PCB		—	—	—	—				—		—	—		
	トリクロロエチレン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	テトラクロロエチレン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	ジクロロメタン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	四塩化炭素		○	○	○	○				○	○	○	○		
	1, 2-ジクロロエタン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	1, 1-ジクロロエチレン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	シス-1, 2-ジクロロエチレン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	1, 1, 1-トリクロロエタン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	1, 1, 2-トリクロロエタン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	1, 3-ジクロロプロペン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	チウラム		○		○	○				○		○	○		
	シマジン		○		○	○				○		○	○		
	チオベンカルブ		○		○	○				○		○	○		
	ベンゼン		○	○	○	○				○	○	○	○		
	セレン又はその化合物	—	○		○	○	—	—	○	○		○	○	○	○
	ダイオキシン類	—	○	—	—	—		—	○	○		—	—		○

○: 取扱可能な廃棄物

—: 取扱不可な廃棄物

産業廃棄物中間処分

許認可都道府県政令市	横浜市			
許可番号	第05620002090号			
許可年月日	2020年1月1日			
許可期限年月日	2024年12月31日			
業の種類	中間処理			
処分方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理施設能力	22. 77t／日	58. 15t／日	11. 15t／日	0. 72t／日
許可品目	廃プラスチック類	廃プラスチック類		廃プラスチック類
	紙くず	紙くず		
	木くず	繊維くず		
	繊維くず	金属くず		
	ゴムくず			
	金属くず			
	ガラスくず及び陶磁器くず			
	がれき類			

一般廃棄物収集運搬

許認可都道府県政令市		横浜市	大和市
許可番号		第1067号	第218号
許可年月日		2024年4月1日	2024年4月1日
許可期限年月日		2026年3月31日	2026年3月31日
事業の範囲	(1) 業の種類	収集・運搬 (積替え・保管を除く)	収集・運搬 (積替え・保管を除く)
	(2) 取扱廃棄物の種類	一般廃棄物	一般廃棄物

建設業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日
とび土工事業	神奈川県知事 (般－30) 第61939号	2023年6月22日	2028年8月23日
解体工事業			

フロン充填回収業

許可の種類	許可番号	許可年月日	許可期限年月日	事業の範囲
フロンガス充填 回収業	神奈川県許可 神(気水) 第1－464号	2022年4月4日	2027年4月3日	第一種フロン類充填 回収業
	東京都許可 13104402	2013年6月24日	2028年6月23日	第一種フロン類充填 回収業

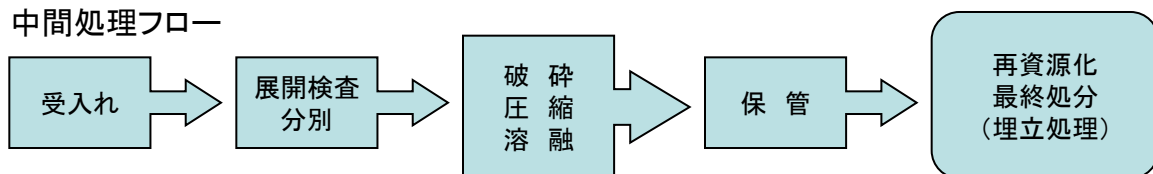
2-4. 中間処理施設の内容

中間処理施設情報

施設名	福浦エコロジーセンター			
住所	神奈川県横浜市金沢区福浦一丁目15番12			
責任者	藤森 英雄			
保管施設面積	1,649.92m ²			
処理方法	破碎	圧縮(1)	圧縮(2)	溶融
処理能力	22.77t/日	58.15t/日	11.15t/日	0.72t/日



中間処理フロー



保有施設

0.45バックホー	2.5tフォークリフト	3.0tフォークリフト	3.5tフォークリフト
1台	1台	1台	1台

40t台貫	破碎機	圧縮機	溶融機
1基	1台	2台	1台



中間処理許可品目及び保管量

＜中間処理前の保管＞

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	直置き	3 6 m ²	1 8 m ³
ガラス陶磁器くず	ドラム缶	1. 0 0 m ²	0. 8 3 m ³
木くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	1 2. 1 8 m ³
紙くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
繊維くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
金属くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
金属くず	コンテナ	4 m ²	4 m ³
がれき類	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			9 3. 5 0 m ³

＜中間処理後の保管＞

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃プラスチックを主とする破砕物	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4. 8 4 m ²	1 4. 5 2 m ³
廃プラスチック類	パレット積	4. 8 4 m ²	1 4. 5 2 m ³
金属くず	パレット積	4. 8 4 m ²	9. 6 8 m ³
繊維くず	パレット積	4. 8 4 m ²	9. 6 8 m ³
紙くず	パレット積	4. 8 4 m ²	9. 6 8 m ³
廃プラスチックを主とする混合廃棄物	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
金属くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
がれき類を主とする混合廃棄物	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
ガラス陶磁器くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1 6 m ²	4 8 m ³
廃プラスチック類	パレット積	1 6 m ²	4 8 m ³
木くず	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
がれき類	コンテナ	6. 8 4 m ²	8. 0 7 m ³
ゴムくず	コンテナ	2 m ²	2 m ³
合計保管量			2 1 2. 5 7 m ³

2-5. 積替保管施設の内容

積替保管施設情報

施設名	茅ヶ崎リサイクルセンター
住所	神奈川県茅ヶ崎市芹沢字城ノ越 25 番 4
責任者	藤森 英雄
保管施設面積	2,340m ²



許可内容及び保管量

廃棄物種類	保管施設	保管面積	最大保管量
廃油	コンテナ	1. 60m ²	2. 40m ³
廃酸	コンテナ	1. 12m ²	1. 12m ³
廃アルカリ	コンテナ	1. 12m ²	1. 12m ³
汚泥	コンテナ	6. 84m ²	8. 07m ³
廃プラスチック類	コンテナ	6. 84m ²	5. 95m ³
紙くず	コンテナ	6. 84m ²	8. 07m ³
繊維くず	コンテナ	6. 84m ²	8. 07m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	コンテナ	6. 84m ²	8. 07m ³
がれき類	コンテナ	6. 84m ²	8. 07m ³
動植物性残さ	コンテナ	8. 74m ²	7. 50m ³
木くず	コンテナ	13. 57m ²	21. 73m ³
金属くず	コンテナ	13. 57m ²	21. 73m ³
ガラスくず及び陶磁器くず	ピット	25. 32m ²	26. 01m ³
木くず	ピット	25. 32m ²	26. 01m ³
廃プラスチック類	ピット	25. 32m ²	26. 01m ³
汚泥※2※3	コンテナ	2. 63m ²	2. 95m ³
廃プラスチック類※2、金属くず※2、ガラスくず及び陶磁器くず※2	ペール缶・ドラム缶	4. 50m ²	5. 40m ³
廃酸※3	コンテナ	1. 00m ²	1. 00m ³
廃アルカリ※3	コンテナ	1. 00m ²	1. 00m ³
合計	—	—	190. 28m ³

※2 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 水銀含有ばいじん等を含む

保有施設

0.16バックホー	1台
0.45バックホー	1台
2.5tフォークリフト	1台
3.5tフォークリフト	1台
ホイールローダ	2台
40t台貫	1基



2-6. 保有車両

車 種	軽・乗用車	2t車	3t車	4t車	10t車
アームロールコンテナ車		1台	3台	9台	2台
アームロールコンテナ車(ユニック付)				1台	
塵芥車		2台	9台	5台	
平ボディー車		3台		2台	
平ボディー車(ユニック付)				1台	
その他	5台				



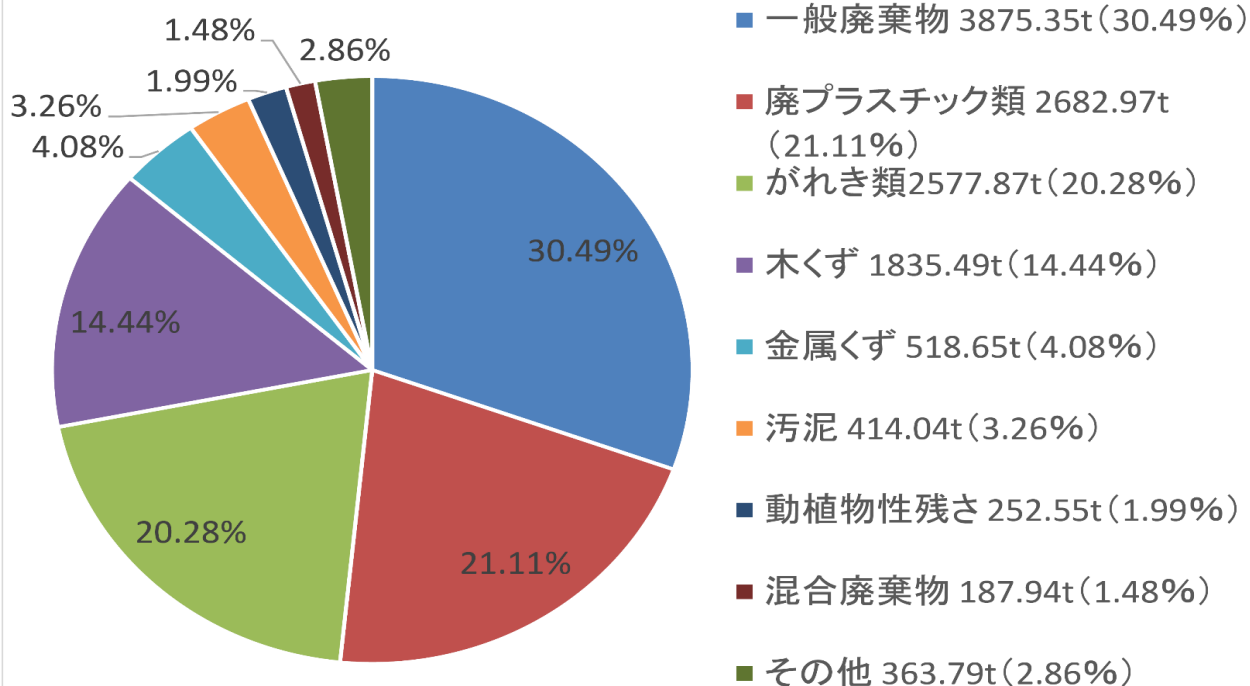
2-7. 廃棄物収集運搬実績

(2023年4月～2024年3月)

廃棄物の種類	数量(t)
一般廃棄物	3875.35
廃プラスチック類	2682.97
木くず	1835.49
金属くず	518.65
がれき類	2577.87
ガラス陶磁器くず	181.58
廃油	49.06
廃油(特管)	2.71
汚泥	414.04
鉱さい	0.30
動植物性残さ	252.55
石綿含有廃棄物	115.46
廃石綿	0.15
紙くず	5.58
廃酸	0.16
廃酸(特管)	0.01
廃アルカリ	0.05
廃アルカリ(特管)	0.06
水銀使用製品産業廃棄物	8.67
混合廃棄物	187.94
廃棄物収集運搬量合計	12,708.65

廃棄物収集運搬実績

(多い順)

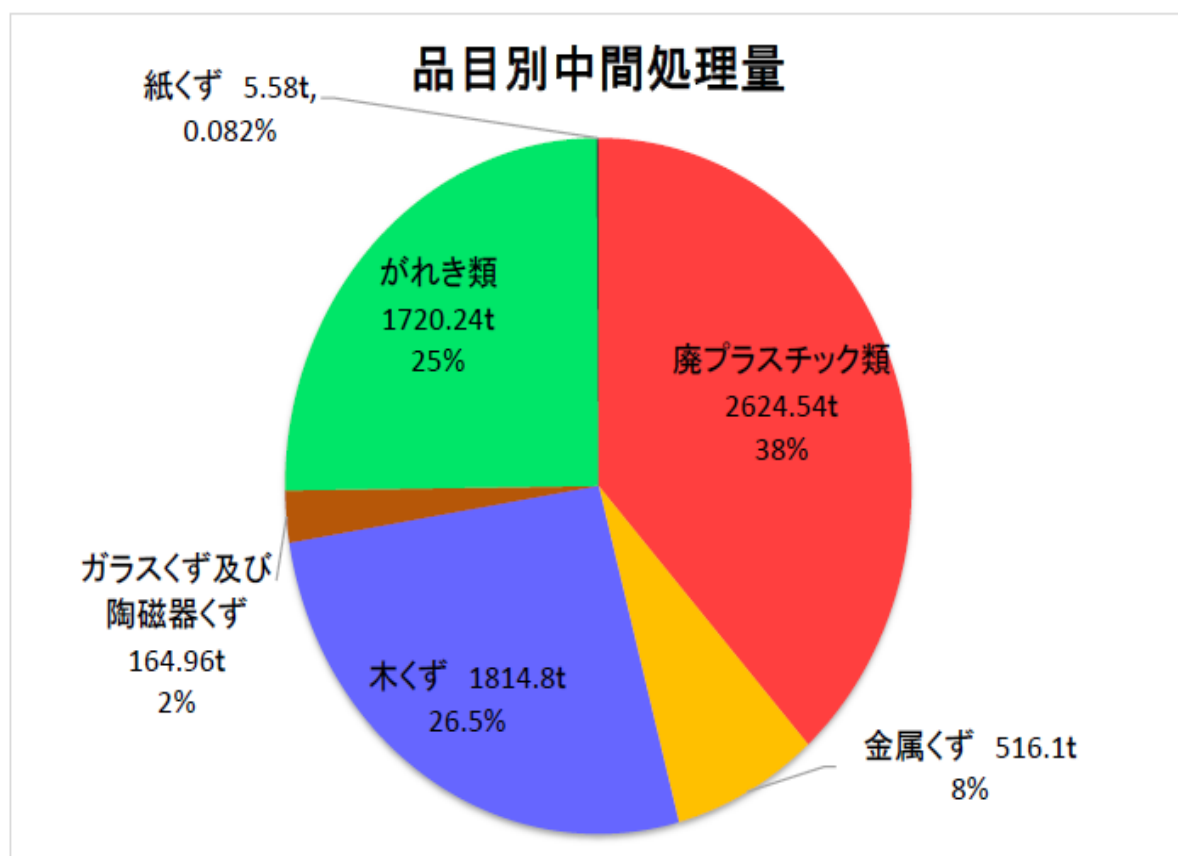


※グラフには、上位8品目のみ掲載

2-8. 産業廃棄物中間処理実績

(2023年4月～2024年3月)

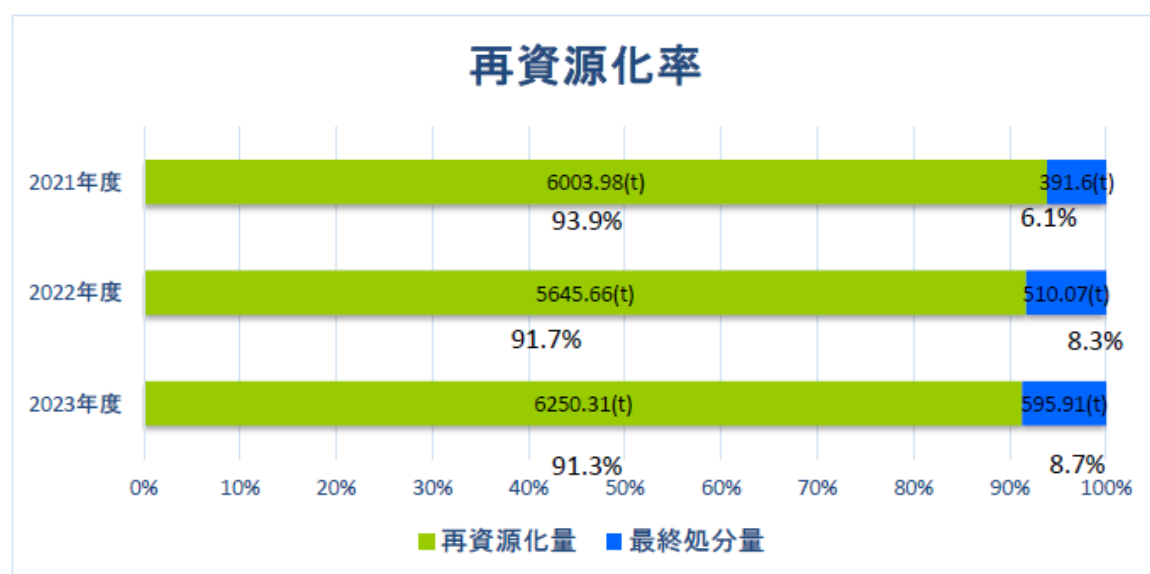
品目	数量(t)
廃プラスチック類	2624.54
金属くず	516.1
木くず	1814.8
ガラスくず及び陶磁器くず	164.96
がれき類	1720.24
紙くず	5.58
中間処理量合計	6846.22



2-9. 産業廃棄物中間処理後の再資源化実績

(2023年4月～2024年3月)

内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
最終処分	廃プラスチック類	(安定型最終処分場)	33.1
	木くず	(管理型最終処分場)	438.31
	ガラス・陶磁器くず	(安定型最終処分場)	62.13
	がれき類	(安定型最終処分場)	62.37
最終処分量合計			595.91
内訳	品目	処理内容詳細	数量(t)
再資源化	廃プラスチック類 (原料)	(原料として再生利用)	936.39
	廃プラスチック類 (燃料)	(燃料として再生利用)	1655.05
	木くず	(チップ燃料及びボード原料として再生利用)	1376.49
	金属くず	(製鉄原料として再生利用)	516.1
	がれき類	(路面材として再生利用)	1657.87
	ガラス・陶磁器くず	(原料として再生利用)	102.83
	紙くず	(原料として再生利用)	5.58
再資源化量合計			6250.31

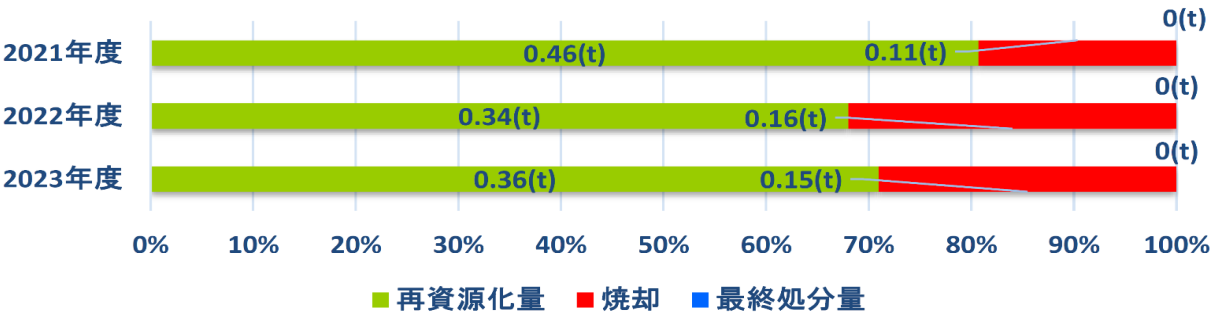


2-10. 廃棄物の排出量実績

単位: (t)

	廃棄物名	2023年4月～2024年3月			合計
		再資源化量	焼却	最終処分量	
一般廃棄物	紙類	0.3618	0	0	0.3618
	可燃ごみ	0	0.148	0	0.148
合計		0.36	0.15	0.00	0.51

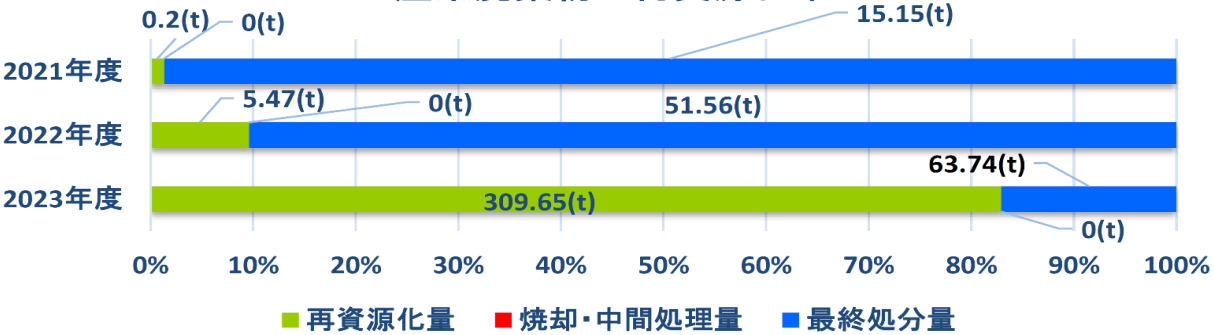
一般廃棄物の再資源化率



産業廃棄物※1	廃プラスチック類	1.85226			
	木くず	8.94			
	金属くず	9.12616			
	がれき類	4.81			
	ガラス陶磁器くず	1.042			
	コンクリートガラ	278.46			
	廃アルカリ			42.24	
	廃酸(特管)				
	廃油				
	汚泥	5.42		7.18	
	石綿含有廃棄物			14.32	
	管理型混合廃棄物				
	安定型混合廃棄物				
合計		309.65	0.00	63.74	373.39

※1: 上記産業廃棄物排出量実績は、解体工事及び清掃作業の請負工事にて発生した廃棄物です。

産業廃棄物の再資源化率



3. 環境経営目標とその実績

3-1. CO₂発生量削減

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標	中期目標	
			2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月
車両 燃費 及び 二酸化 炭素 発生量	本社 燃費平均（ガソリン）	km／L	18.60	21.93	18.79	18.97	19.16
	ガソリン使用量総計（年間）	L	4,865	2,673	4,816	4,770	4,723
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	11,287	6,201	11,173	11,066	10,957
	本社 燃費平均（アムロール車・平ボテイエー車）	km／L	5.83	5.85	5.89	5.95	6
	軽油使用量総計（年間）	L	23,510	30,338	23,270	23,036	22,844
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	60,656	78,272	60,037	59,433	58,938
	本社 燃費平均（ハッカー車）	km／L	3.97	3.98	4.01	4.05	4.09
	軽油使用量総計（年間）	L	42,005	42,137	41,586	41,175	40,773
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	108,373	108,713	107,292	106,232	105,194
	茅ヶ崎サイクルセンター 燃費平均（10t車）	km／L	2.95	2.97	2.98	3.01	3.04
	軽油使用量総計（年間）	L	31,100	37,488	30,787	30,480	30,179
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	80,238	96,719	79,430	78,638	77,862
	茅ヶ崎サイクルセンター 燃費平均（アムロール・平ボテイエー車）	km／L	5.63	5.50	5.69	5.74	5.8
	軽油使用量総計（年間）	L	33,012	30,018	32,664	32,379	32,044
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	85,171	77,446	84,273	83,538	82,674
	茅ヶ崎サイクルセンター 燃費平均（ハッカー車）	km／L	3.79	3.42	3.83	3.87	3.9
	軽油使用量総計（年間）	L	8,781	8,865	8,689	8,599	8,533
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	22,655	22,872	22,418	22,185	22,015
	大和営業所 燃費平均（ハッカー車）	km／L	4.18	4.63	4.22	4.26	4.31
	軽油使用量総計（年間）	L	32,088	28,232	31,784	31,485	31,120
	CO2発生量総計（年間）	kg - CO2	82,787	72,839	82,003	81,231	80,290

基準のガソリン及び軽油使用量は、昨年度実績による

短期及び中期目標のガソリン及び軽油使用量は、実績年度がそれぞれ目標値の燃費だった場合の使用量として算出

※購入電力排出係数0.531 (kg - CO₂／Kwh)

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標	中期目標	
			2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月
各使用量及び二酸化炭素発生量	本社 電気使用量平均	Kwh	3,054	2,977	3,024	2,993	2,963
	電気使用量総計	Kwh	36,652	35,726	36,285	35,919	35,552
	C02発生量総計	kg - CO2	19,462	18,971	19,267	19,073	18,878
	茅ヶ崎サイクルセンター 電気使用量平均	Kwh	1,387	1,289	1,373	1,359	1,346
	電気使用量総計	Kwh	16,645	15,466	16,479	16,312	16,146
	C02発生量総計	kg - CO2	8,838	8,212	8,750	8,662	8,574
	大和 営業所電気使用量平均	Kwh	108	115	—	—	—
	電気使用量総計	Kwh	1,293	1,375	—	—	—
	C02発生量総計	kg - CO2	687	730	—	—	—
	本社 ガス使用量平均	m3	5.5	4.2	5.4	5.4	5.3
	ガス使用量総計	m3	66	50	65.3	64.7	64
	C02発生量総計	kg - CO2	143	108	141	140	138
	全施設 水使用量平均	m3	47.3	48	46.8	46.4	45.9
	水使用量総計	m3	567.5	575.5	561.8	556.2	550.5

基準の各使用量は、昨年度実績による

環境経営目標		単位	基準	実績	短期目標	中期目標	
			2022年4月～ 2023年3月	2023年4月～ 2024年3月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月
	自社廃棄物の再資源化率向上（産廃）	%	84	83	85	85	85
	自社廃棄物の再資源化率向上（一般）	%	68	71	69	70	71
	中間処理後の廃棄物の再資源化率向上	%	83	91	84	85	86

自社廃棄物（産廃）の目標値は、「据え置き」とする（短期目標に同じ）

※化学物質については、現在未使用の為削減目標は未設定

3－2. 水資源使用量削減

水道使用量は少量のため、節水に関する注意喚起を行います。(単位：m³)

施設名	2021 年 4 月～ 2022 年 3 月まで	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月まで	2023 年 4 月～ 2024 年 3 月まで
	水使用量合計		
本社	78	235.5	263.5
福浦エコロジーセンター	256.5	—	—
茅ヶ崎リサイクルセンター	254.5	296	248
大和営業所	26	36	64
全施設	615	567.5	575.5

4. 主要な環境経営計画の内容と取組み結果の評価 及び次年度の取組内容

主要な 環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2023 年 4 月～2024 年 3 月）			
		車両 台数	目標 (平均)	実績 (平均)	達成 区分
C O 2 削減	燃費向上（ガソリン） 全営業車 ・エコドライブ実施	2	18.79 km/L	21.93 km/L	○
	燃費向上（軽油） アームロール車・平ボディー車 [本社管轄] ・エコドライブ実施	9	5.89 km/L	5.85 km/L	△
	燃費向上（軽油） パッカー車 [本社管轄] ・エコドライブ実施	10	4.01 km/L	3.98 km/L	△
	燃費向上（軽油） 10t アームロール車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	3	2.98 km/L	2.97 km/L	△
	燃費向上（軽油） アームロール車・平ボディー車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	9	5.69 km/L	5.50 km/L	△
	燃費向上（軽油） パッカー車 [茅ヶ崎管轄] ・エコドライブ実施	2	3.83 km/L	3.42 km/L	△
	燃費向上（軽油） パッカー車 [大和管轄] ・エコドライブ実施	6	4.22 km/L	4.63 km/L	○

○：目標達成 △：目標未達成（1 km/L 未満） ×：目標未達成

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2023 年 4 月～2024 年 3 月）			
		目標(合計)	実績(合計)	達成区分	課題・今後の方針等
C O 2 削減	電力使用量削減（本社） ・ 不要照明の消灯 ・ LED 照明の導入	36, 285 kwh	35, 726 kwh	○	・ 冬場等、工場で夜間照明を使用する時間を短縮する事が出来た。 ・ 一方、事務所で遅くまで使用してしまっている照明やエアコンの使用量を減らせる様に、今後作業の効率化など時間短縮を図る。
	電力使用量削減（茅ヶ崎） ・ 不要照明の消灯 ・ LED 照明の導入	16, 479 kwh	15, 466 kwh	○	
	CO2 発生量削減（全社）	535, 832 Kg-CO2	553, 022 Kg-CO2	×	・ 廃棄物の運搬量が増えた事で、指標であるトラックの走行距離が増えており、結果 CO2 排出量も増加する形となった。

○：目標達成 △：目標未達成（3%未満） ×：目標未達成

CO2 発生量の目標値は、昨年度の実績に 1%アップ（削減）した値

主要な環境経営計画の内容		取組み結果の評価（2023 年 4 月～2024 年 3 月）			
		目標	実績	達成区分	課題・今後の方針等
水使用量削減（全社） ・ 表示による注意喚起		561.8 m3	575.5 m3	△	・ 大和で洗車の回数を増やした。 ・ 茅ヶ崎で漏水発生（2 ヶ月で通常より 20 m³使用量増加 ・ 水漏れ等、普段から気を付ける。
自社廃棄物の再資源化率向上 ・ 分別の徹底		産廃 85%	82.9%	△	・ 石綿含有廃棄物や汚泥等、埋立処分したものが多かった。 ・ リサイクル可能物を埋立等に回してしまわない様な体制作り。
		一般 69%	71%		
中間処理後の廃棄物の再資源化率向上 ・ 仕分け分別の徹底		84%	91.3%	○	・ がれき類の受入量が全体の 4 分の 1 を占める中で、リサイクル施設への搬入を継続出来ている。

○：目標達成 ×：目標未達成（水使用量に関しては、△：目標未達成（3%未満）有り）

主要な環境経営計画の内容	取組み結果の評価（2023 年 4 月～2024 年 3 月）		
	実績内容	達成区分	課題・今後の方針等
電子マニフェストの実運用化	電子マニフェスト運用	△	・電子マニフェストが普及してきており、使用する件数が増加。 ・現状紙でやりとりしている企業で、電子登録済みのところもあるので、切り替えを提案する。
教育訓練	社員教育	○	・各センターで日々朝礼・終礼を実施。その中で、ホットな問題点や周知が必要な事項など、時間を空けることなく情報共有が来ている。

○：目標達成 △：一部達成 ×：目標未達成

【総評】

- ・掲げた目標値に対して、全体としてはCO2発生量を削減する事が出来なかった。
廃棄物運搬量の増加→車両走行距離の増加が主な要因となった。
- ・電気・ガス使用量削減や中間処理後のリサイクル率向上など、ある程度成果を出せており、引き続き環境への配慮を進めていきたい。

<活動写真>



安全講習



朝礼・終礼



消火訓練



5. 次年度の取組計画

環境経営計画(2024年4月～2025年3月)

車両 CO2削減(燃費削減)

単位：km/L

項目	施策		
茅ヶ崎[ガソリン] 営業車	燃費向上運転の励行	基準値	21.93
		年度目標(基準の1%アップ)	22.15
本社[軽油] アームロール・平車	燃費向上運転の励行 急発進をしない様に走行する	基準値	5.85
		年度目標(基準の1%アップ)	5.91
本社[軽油] パッカー車	燃費向上運転の励行 タイヤの空気圧を定期的に確認・調整する	基準値	3.98
		年度目標(基準の1%アップ)	4.02
茅ヶ崎[軽油] アームロール・平車	燃費向上運転の励行 オイル交換を定期的に行う	基準値	5.5
		年度目標(基準の1%アップ)	5.56
茅ヶ崎[軽油] パッカー車	燃費向上運転の励行 急発進・急ブレーキをしない	基準値	3.42
		年度目標(基準の1%アップ)	3.45
茅ヶ崎[軽油] 大型アームロール	燃費向上運転の励行 アイドリングストップの実行	基準値	2.97
		年度目標(基準の1%アップ)	3
大和[軽油] パッカー車	燃費向上運転の励行 巻き込み作業中は、エンジンを切っておく	基準値	4.63
		年度目標(基準の1%アップ)	4.68

電気使用量 CO2削減(電力削減)

単位：KWH

項目	施策		
本社[電気]	昼休みの消灯	基準値	35,726
		年度目標(基準の1%削減)	35,369
茅ヶ崎[電気]	使用していないコンピュータの電源OFF	基準値	15,466
		年度目標(基準の1%削減)	15,311

ガス使用量 CO2削減(ガスの削減)

単位：m³

項目	施策		
本社[ガス]	節約ステッカーによる注意喚起を行う	基準値	50
		年度目標（基準の1%削減）	49.5

水使用量 使用量削減（節水）

単位：m³

項目	施策		
全社[水]	節水ステッカーによる注意喚起を行う	基準値	575.5
		年度目標（基準の1%削減）	569.7

廃棄物の適正管理 再資源化率向上

単位：%

項目	施策		
本社 自社排出廃棄物(産廃)	廃棄物の適正管理に努め、分別を行い 再資源化率の向上を進める	基準値	84
		年度目標（1%アップ）	85
本社／茅ヶ崎 自社排出廃棄物(一般)		基準値	69
		年度目標（1%アップ）	70
本社 中間処理後廃棄物		基準値	84
		年度目標（1%アップ）	85

電子マニフェストの活用

項目	施策
本社	電子マニフェスト実運用化 二次マニフェスト電子化

教育訓練

項目	施策
全社	教育訓練の実施(法規制、環境、安全に関する教育) 緊急事態対応訓練の実施(消防、流出、飛散防止、水害対策訓練)

6. 環境関連法規への違反、公訴等の有無

環境関連法規	内 容
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物の収集運搬
	産業廃棄物の収集運搬・処理
	特別管理産業廃棄物収集運搬
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	上記法律の補足事項
神奈川県生活環境の保全等に関する条例	各種環境負荷低減
横浜市条例	一般廃棄物収集運搬許可など
大和市条例	一般廃棄物収集運搬許可など
浄化槽法	点検・検査及び汲み取り
消防法	指定可燃物
建設業法	建設業許認可（①とび・土工工事業、②解体工事業）
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	分別解体等の実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	フロン回収における業者登録及び回収量報告、第一種特定製品の点検・記録
大気汚染防止法 石綿障害予防規則	事前調査・作業計画・隔離作業等・作業届出

環境関連法規への違反はありません。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。



7. 代表者による全体見直しと見直しの結果

2023年度において、車両の燃費等一部で目標値を下回った箇所はあったが、全体的な取り組みは実行出来ていた。

引き続き現状の活動を継続していく形で進めてもらいたい。

廃棄物の依頼は増加傾向にあり、その面で二酸化炭素排出量の増加があった事を確認した。

近年の物価高騰を受けて、公共料金や燃料費も上がっており、削減に取り組む事は必要である。しかし、過度な目標設定による締め付けは、従業員の働く意欲や事業活動にも影響を及ぼす為、継続可能な範囲で活動を続ける様にしていきたい。